
少年少女発明クラブ

〈 畑 中 公 民 館 〉

○開 設 の 趣 旨 昭和６３年に発明協会の承認を得て発足した新座市少年少女発明クラブの会員による年間を通じての活動で、内容は科学的な興味と関心を探求できる工作活動を主に毎月１回、テーマを決めて実施した。

○期 間 平成３１年４月６日～令和２年２月８日 各土曜日（計１３回）
（計２８時間）

○対 象 ・ 定 員 市内在住の小学生・１６人

○参 加 者 １６人 参加延べ人数 １６０人

○講 師 発明クラブ指導員 横山 仁 外６人

○事 業 内 容

回	月 日	時 間	内 容
１	４月 ６日（土）	午前１０時～正午	開講式・オリエンテーション
２	５月１１日（土）	午前１０時～正午	紙を使った工作
３	６月 ８日（土）	午前１０時～正午	プラスチッククラフトを楽しもう
４	６月２２日（土）	午前１０時～正午	木工作Ⅰ（基本工作の基礎）
５	７月１３日（土）	午前１０時～正午	ペットボトル風車作り
６	７月２０日（土）	午前１０時～正午	ペットボトルロケット作り
		午後 ２時～４時	ペットボトルロケット実射
７	８月 ３日（土）	午前１０時～正午	モーターを使った工作
８	９月１４日（土）	午前１０時～正午	ＬＥＤ工作
９	１０月１２日（土）	午前１０時～正午	ストローヘリコプター作り
１０	１１月 ９日（土）	午前１０時～正午	木工作Ⅱ（ペン立て作り）
１１	１２月１４日（土）	午前１０時～正午	クリスマスケーキ作り
１２	１月１８日（土）	午前１０時～正午	センサーと光の工作
１３	２月 ８日（土）	午前１０時～正午	パソコン講座アルゴリズム入門

○ま と め

４月の開講から２月まで全１３回にわたり、毎月１回のペースで毎回異なるテーマで講座を実施した。カッターを使った紙工作に始まり、のこぎり、かなづち、ドリル等を使った木工作、ペットボトルを使った風車及びロケット作り、ストローを使ったヘリコプター作り、またモーターを使った動く工作物の製作、ＬＥＤを使った工作を行った。様々な工作物の製作を通じてその難しさや原理原則を学ぶとともに、創造性の向上に資することができたのではないかと。１４回目に閉講式を行う日程だったが、新型コロナウイルス感染症の拡大防止のため中止となった。

絵本とおはなしクラブ

〈 畑 中 公 民 館 〉

○開 設 の 趣 旨 幼児や小学生を対象に季節に合わせた読み聞かせや紙芝居、手遊びを行い、読書の楽しさを伝える。

○期 間 ①令和元年6月29日、②12月21日の土曜日（計2回）

○時 間 午前10時30分～11時30分（計2時間）

○対 象 ・ 定 員 市内在住の幼児から小学生までの子どもと保護者・20人

○参 加 者 ①5組13人 ②1組3人 計6組16人

○講 師 読み聞かせボランティアグループ絵本の会「四季」

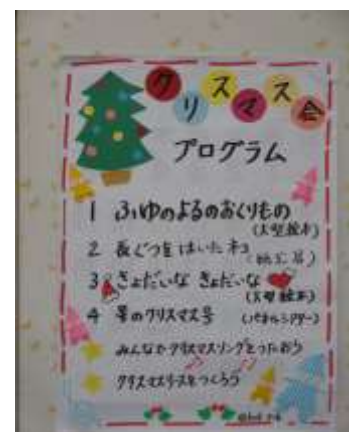
○事 業 内 容

回	月 日	内 容
1	6月29日（土）	○おはなし会と七夕かざり作り 大型紙芝居「もみもみおいしゃさん」、大型絵本「ありとすいか」「すみっこのおばけ」、歌、七夕の笹かざり作り
2	12月21日（土）	○クリスマスのおはなし会 大型絵本「きょだいなきょだいな」「ふゆのよるのおくりもの」、紙芝居「長ぐつをはいたネコ」、パネルシアター「星のクリスマス号」、クリスマスソング、折紙でリース作り

○ま と め

今年度も昨年同様2回講座を開催した。2回とも絵本の会「四季」に単独で講師を依頼した。

1回目は事前の申込み者は3組だったが、当日参加が2組あり5組の参加となった。前半読み聞かせ、後半笹かざり作りだったが、飾りを「四季」の皆さんがあらかじめたくさん作ってきてくれて、おみやげに持ち帰ってもらった。館で用意した笹を子ども一人に1本ずつプレゼントした。2回目は事前の申込み者がなかったが、当日1組3人の親子が参加してくれた。参加者を増やす工夫が必要と感じた。



サマースクール ～アルゴリズム体験ゲーム～

〈畑中公民館〉

- 開設の趣旨 PCのプログラミングの基本となる倫理的思考をゲーム感覚で習得するための課題解決型ゲームを体験する。
- 期 間 令和元年8月2日（金曜日）
- 時 間 午前10時～正午（計2時間）
- 対象・定員 市内在住の小学4年生から6年生・16人
- 参加者 12人
- 講師 （一社）電子情報技術産業協会 大山 裕
- 事業内容 PCを使ったアルゴリズム体験ゲーム「アルゴリズム」に挑戦する。

○まとめ

自動販売機ゲームというのから入っていき、正しい順番でジュースを買うことができた場合、できない場合はどうなるのかを確かめるゲームである。できない場合には、UFOやおじいさんが登場したりと、子どもたちは楽しそうだった。

アルゴリズムは、入門編から学び、色々な図形パターン問題を解いていくものである。途中から二人ずつのチームを作り、問題をいくつ解けるかを競うゲームを行った。難問になるほど得点が高くなるものでチームによってだいぶ差ができてしまった。

子どもたちは、来年度からプログラミングが授業に入ってくるので、この夏休みによい勉強になったのではないかな。

夏休み子ども講座

～紙バンドで「ゾウキリン」のペン立てを作ろう～

〈畑中公民館〉

○開設の趣旨 夏休みの時間を利用して紙バンドの作品作りを体験する。

○期 間 令和元年8月20日（火曜日）

○時 間 午前10時～正午（計2時間）

○対象・定員 市内在住の小学3年生から6年生・20人

○参加者 9人

○参加費 300円（材料費）

○講師 クラフトバンド認定講師 奥村 ひろ美

○事業内容 紙バンドでゾウキリン型のペン立てを作る。

○まとめ

講座の内容を練る中で、新座市のイメージキャラクター「ゾウキリン」のペン立てを紙バンドで作ることを夏休みの子ども講座として企画した。もっと参加希望があるかと予想していたが、なかなか増えなかった。人数が足りない場合は小1、小2も可能ということで参加してもらった。

13人申込みがあったが、当日4人のキャンセルがあり、参加者は9人だった。アシスタントの方が2人来て、一人一人丁寧に教えてもらえたので全員が上手に出来あがり、それぞれ満足して持ち帰った。形を作るまでは、難しいところもあったが、その後の飾り付けでは、各自の工夫を活かした個性的なゾウキリンが出来あがった。飾り付けにもう少し時間が欲しかったようで、予定時刻をオーバーしてしまった。

夏休み中の企画としては、内容的にとっても充実していたと思う。参加者が少なかったのが残念だったが、日程の設定が課題かと思う。



大人の電気工作～センサーと光の工作～

〈 畑 中 公 民 館 〉

- 開設の趣旨 大人もＬＥＤを使った電気工作を楽しむ。
- 期 間 令和元年５月１８日（土）
- 時 間 午前１０時～正午 （計２時間）
- 対象・定員 市内在住又は在勤の高校生以上の方・１６人
- 参 加 者 ９人
- 参 加 費 ５００円（材料費）
- 講 師 越谷総合技術高校教諭 横田 一弘
- 事 業 内 容 ＬＥＤを使って簡単な光の実験装置を製作する。
- ま と め

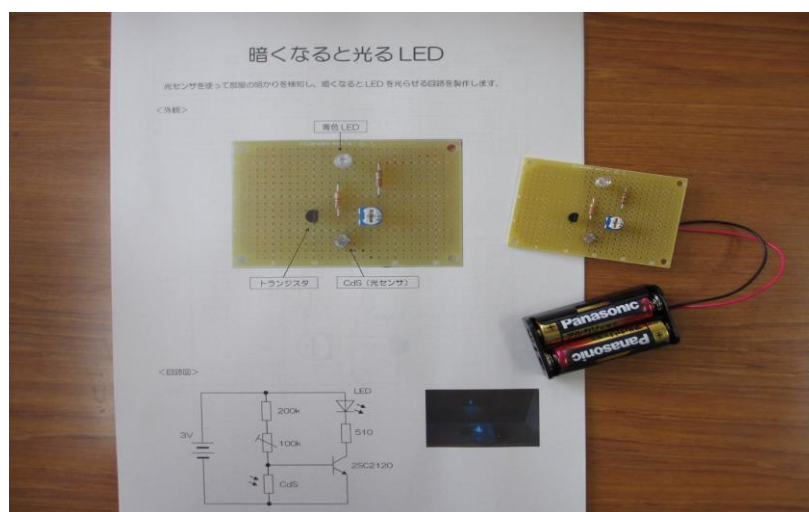
昨年に引き続き大人の電気工作は２回目の開催となった。

今回は予想より女性が多く、学生の参加もあった。

光センサーを応用して暗くなると光る電子回路を、電子部品をはんだ付けして作製した。夜になって、部屋の電気を消すとＬＥＤが光る仕組みである。

受講者たちはピンを折り曲げたり裁断したり、またハンダ付け等の細かな作業に手間取りながらも全員時間内に完成した。

受講者から工作講座を増やしてほしい、昨年行われた３色のフルカラーＬＥＤを光らせる装置を作りたいなど、意欲的な意見をたくさん頂いた。



草履取りから関白豊臣秀吉へ・・・
その権力と利休との対立

〈 烟 中 公 民 館 〉

- | 回 | 月 日 | 内 容 |
|---|----------|--------------|
| 1 | 5月24日（金） | 豊臣秀吉の家族関係 |
| 2 | 5月31日（金） | 秀吉の戦国統一の政策 |
| 3 | 6月 7日（金） | 秀吉、「天下」への道程 |
| 4 | 6月14日（金） | 織田信長と秀吉、黄金茶室 |

小澤講師の講座は本市他公民館でも実施していることから、リピーターも多数いるため来年度も同様の応募があると思われる。



歴史講座 ～応仁の乱から戦国時代へ～

〈 畑 中 公 民 館 〉

- 開設の趣旨 日本歴史や文化を学び、理解を深める。
- 期 間 令和元年6月15日～7月6日までの毎週土曜日（計4回）
- 時 間 午前10時～正午（計8時間）
- 対象・定員 市内在住又は在勤の方・50人
- 参加者 48人 参加延べ人数149人
- 講師 国文学研究者 棚木 恵子
- 事業内容

回	月 日	内 容
1	6月15日（土）	応仁の乱が起こる前から戦後にかけて、関東の地はどのような政治的・軍事的状況にあったのか。関東管領・太田道灌・北条早雲などを取り上げながら学ぶ。
2	6月22日（土）	
3	6月29日（土）	
4	7月 6日（土）	

○ま と め

今回もたくさんの方に受講してもらった。全4回全て参加という人は多くなかったが、梅雨で悪天候の中、多くの方に受講して頂いた。

講義は、鎌倉公方との対立、土一揆などのために幕府が不安定となる頃から入り、室町時代の年表、足利氏略系図等を中心に人物についての詳しい解説があった。

複雑な時代の内容だったが、講師の話がわかりやすく楽しいとの声が多く、次年度も内容は未定だが開催することとなった。

夏の料理教室 ～紫外線対策をして、体の内側から美肌作り～

〈 畑 中 公 民 館 〉

- 開 設 の 趣 旨 夏の日差しに負けない美肌作りに役立つ料理を作る。
- 期 間 令和元年 7 月 1 1 日（木）
- 時 間 午前 1 0 時～午後 1 時（計 3 時間）
- 対 象 ・ 定 員 市内在住又は在勤の方・ 1 6 人
- 参 加 者 1 6 人
- 保 育 1 人
- 参 加 費 8 0 0 円（材料代）
- 講 師 料理研究家 鈴木 香
- 事 業 内 容 ・ 温野菜サラダ（人参と胡桃のドレッシング）
 ・ ミニトマトの冷製パスタ・旬魚のアクアパッツァ

○ま と め

定員を上回る応募があり抽選を行った。保育希望者は 2 人だったがキャンセルがあり、結局保育サポーター 1 人幼児 1 人となった。

初めに、メニューの 3 品の作り方について講師から説明を受けた。食材の栄養や、その効果を高める調理法などサブタイトルにちなんだ話もあり、皆さんメモを取りながら又、質問をしながら熱心に聞き入っていた。

その後、1 グループ 4 人で手分けして 3 品の調理に取り組んだ。グループ内で話し合いながら手際よく作業を進め、3 品とも短時間に仕上がった。また、講師から盛りつけのアドバイスを受け、得心された様子の方もいた。グループで仕上がり時間に差があり出来たところから試食した。料理のボリュームも満点で、おなかも心も十二分に満たされた様子だった。アンケートからも、皆さん講座内容に満足されたようだ。



近年の気象災害とその対策 ～自分の命は自分で守る～

〈 烟 中 公 民 館 〉

- | | |
|------------|--|
| ○開 設 の 趣 旨 | 気象災害と対策について、気象予報士から直接話を聞くことで地域住民の意識を高める。 |
| ○期 間 | 令和元年 9 月 2 7 日（金） |
| ○時 間 | 午後 1 時～3 時（計 2 時間） |
| ○対 象 ・ 定 員 | 市内在住又は在勤の方・5 0 人 |
| ○参 加 者 | 3 6 人 |
| ○講 師 | 気象予報士・防災士 平井 信行 |
| ○事 業 内 容 | 近年多発している気象災害から身を守るための対策について学ぶ。 |

- ## ○ま と め

近年、台風や地震などによる被害が頻発しており、人々の関心も高いだろうと考え、気象予報士・防災士の平井氏に講師を依頼した。TV出演しているキャスターなので、もっとたくさんの受講希望があるかと思っていたが、なかなか希望者が増えず苦勞した。興味はあるし受講したいが予定があるので参加できないという方も多かった。

講師は、話術も巧で、防災について分かりやすく今後の災害時の行動に大いに参考となる内容であった。9月の台風15号による千葉の被害状況についても、講師自ら現地へ赴き撮影してきた写真を元に説明もあった。他人事ではない気象災害について、皆さん思いを巡らせたようだった。事前に講師の著書の販売についての申し入れがあり、出版社の担当者が1人来て、準備、販売を行った。

アンケートより、受講者の防災への関心の高さと本講座の内容に満足した様子が伺えた。受講者の人数が少なかったのが残念だった。



蕎麦打ち講座 ～新そばを打って、旬を味わう～

〈 畑 中 公 民 館 〉

- 開設の趣旨 新そば粉収穫時期に合わせたそば打ちの体験を通し、地域住民の交流と畑中公民館サークルの育成を図る。
- 期 間 令和元年10月26日(土)
- 時 間 午後1時～3時30分(計2.5時間)
- 対象・定員 市内在住又は在勤の方・15人
- 参加者 15人
- 参加費 1,000円(材料代)
- 講師 新座手打ち蕎麦同趣会
- 事業内容 講師陣によるデモンストレーションの後に実習を行い、試食する。

○ま と め

当館で活動中の「新座手打ち蕎麦同趣会」に講師を依頼し開催している講座で、今年で12回目となった。今年は1日で申込満杯となり、その後の希望者を断るほどの人気だった。当初男性の申込みは3人だったが、2人のキャンセルにより男性の参加は1人となった。

1テーブル3人に講師1人で手際よく作業を進めた。道具一式全て同趣会の皆さんのものを貸していただき、本格蕎麦打ちを体験することができた。

作業中、質問したり、コツを繰り返し教えてもらったりできたので、大変満足している様子だった。また、かぐわしい新そばの香りを楽しみながらの試食に笑顔があふれていた。

今後も機会があったら是非参加したいとの感想が多く寄せられた。なお、同趣会の会員数は今満杯ということである。



「今昔物語集」を読む～仏教説話にふれる～

〈 畑 中 公 民 館 〉

○開 設 の 趣 旨 平安時代後期の書「今昔物語集」を読み、先人の思想を
学び、現代社会にどう活かすかを考察する。

○期 間 令和元年 1 1 月 5 日～2 6 日までの毎週火曜日（計 4 回）

○時 間 午前 1 0 時～正午 （計 8 時間）

○対 象 ・ 定 員 市内在住又は在勤の方・5 0 人

○参 加 者 4 4 人 参加延べ人数 1 4 0 人

○講 師 学習院大学講師 林 東洋

○事 業 内 容

回	月 日	内 容
1	1 1 月 5 日（火）	平安時代後期の書「今昔物語集」の中から 4 回に渡り深く読み込み、文脈の解説と解釈、 その考察を行う。
2	1 1 月 1 2 日（火）	
3	1 1 月 1 9 日（火）	
4	1 1 月 2 6 日（火）	

○ま と め

昨年に引き続き、1 0 0 0 話以上ある今昔物語集の中からいくつかの話を、
講師が用意した古文書にて解説してくれた。

第 1 回は、昨年のもちめから入ったので、今回初めて参加の方も入りやす
かったようだ。全部で 1 0 話の話を読んでいったが、現実離れした可笑しい
話が多かった。

林講師の講義は大変人気があり、次年度も継続して全 4 回の講座を開催す
ることになった。内容については、受講者にアンケートを取り、「日本事物
誌」を読むことになりそうだ。



歌舞伎講座

～見よう！知ろう！楽しもう！～

〈 畑 中 公 民 館 〉

- 開設の趣旨 歌舞伎の歴史や特色、芝居見物の楽しみ方を学ぶ。
- 期 間 令和元年6月20日、7月4日・18日の木曜日（計3回）
- 時 間 午前10時～正午、18日午前11時～午後1時30分
（計6.5時間）
- 対象・定員 市内在住又は在勤の方・50人
- 参加者 31人 参加延べ人数 73人
- 講師 清泉女子大学講師 武藤 純子
- 事業内容



回	月 日	内 容
1	6月20日（木）	歌舞伎のいろは～役者・舞台・種類・約束事～
2	7月 4日（木）	「車引」「棒しばり」の解説～あらすじ・見どころ～
3	7月18日（木）	国立劇場にて歌舞伎鑑賞教室 「菅原伝授手習鑑～車引～」 「棒しばり」を鑑賞

○ま と め

今回は、歌舞伎鑑賞教室を交えて全3回の構成にした。前年度のアンケートに基づき、鑑賞教室の希望が十数人いたので、最小限の人数で募集したが、予想をかなり上回り多数の応募を頂いた。

1回目は、はじめに歌舞伎の舞台や歴史について説明があり、歌舞伎の読み方をクイズ形式で行い、楽しく読み方を覚えることができた。2回目は、DVDに不備があり、次回の予習があまりできなかったが、歌舞伎の後見・黒衣の役割など詳しく説明があり裏方の動きひとつで見方が変わってしまうのだと感心した。3回目の鑑賞教室は、歌舞伎の見方（解説）から入り、休憩をはさみ歌舞伎を鑑賞した。2階席だったのであまり臨場感は湧かなかったが35分と40分の物語だったので、初心者には良かったと思う。

美術館に親しむ2日間

〈 畑 中 公 民 館 〉

○開設の趣旨 近代美術を中心に歴史を交え、絵画を楽しむコツを紹介する。

○期 間 令和2年2月13日・20日の木曜日（計2回）

○時 間 午前10時～正午（計4時間）

○対象・定員 市内在住又は在勤の方・25人

○参加者 12人 参加延べ人数 20人

○参加費 200円（観覧料）

○講師 埼玉県立近代美術館 喜多 春月

○事業内容

回	月 日	内 容	場 所
1	2月13日（木）	美術館を知ろう！ ～美術館の歴史と役割～	畑中公民館
2	2月20日（木）	美術館を楽しもう！ ～見る・思う・共有する～	埼玉県立近代美術館

○ま と め

1回目は、絵のカードを使い、①作品をよく見る②感じたことを整理する③他者と共有する④他者の視点を知るという順番で絵をじっくりと観察した。最後は4人の班でテーマを「旅」として物語を作成し発表した。「どう感じるか」に正解はない。お互いの意見を尊重することが大切であるということだ。

2回目は、近代美術館の建物の設立や経緯などの説明があり、メインは美術館サポーターが、コレクションからお気に入りの作品を9つ展示しているその中から、1つ選んでもらい、その作品に関する「投げかけ」を、自分なりの見方や感想などを発言してもらう講義だった。

さまざまな感想があり、他者の視点を知ることでもでき、作品への理解もさらに深まったのではないかな。



おもてなし料理講座 ～ひと工夫で簡単、美味しい！クリスマスの料理～

〈 畑 中 公 民 館 〉

- 開設の趣旨 クリスマスに楽しめる料理を作る。
- 期 令和元年12月6日（金曜日）
- 時 午前10時～午後1時（計3時間）
- 対象・定員 市内在住又は在勤の方・16人
- 参加者 16人
- 保育 6人
- 参加費 1,200円（実習材料費）
- 講師 管理栄養士 鳴嶋 廣美
- 事業内容 ・フライパンパエリア・豆のサラダ
 ・ポテトサラダテリーヌ風・人参のクミン炒め
 ・豆腐のティラミス



○ま と め

料理講座は人気で30人ほど申込みがあり、保育希望の6人以外の10人を抽選で決めた。最終的には、保育あり5人、保育なし11人の計16人となった。前日に講師が準備のために来館し、当日は8時半から準備を開始した。レシピは講師が全員分用意してくてくれた。

最初にポテトサラダのテリーヌ風、豆のサラダ、人参のクミン炒め作りを講師が調理して、その後受講者はそれぞれ各班に分かれて実践した。後半はフライパンパエリアに取り組んだ。豆腐のティラミスは、講師がまとめて作り、盛り付けを各自で工夫して作った。

食材や調味料の安全な選び方や調理のコツなども教えてもらった。保育の幼児は試食の時間に実習室で持参の食べ物や作った料理を取り分けて一緒に食事した。各班に一組は幼児が入るようにグループ分けをしたので、どのグループも幼児を迎えてより和やかな雰囲気だった。

今回のメニューは比較的手間いらずで見栄えもよく、家でも必ず作りたいという声が多く聞かれた。



紙バンドのテーブルバスケット作り

～ちょっとおしゃれにテーブルを飾ってみませんか～

〈 畑 中 公 民 館 〉

- 開 設 の 趣 旨 紙バンドでテーブルバスケットを手作りして楽しむ。
- 期 間 令和元年5月30日、6月6日の木曜日（計2回）
- 時 間 午前10時～正午 （計4時間）
- 対 象 ・ 定 員 市内在住又は在勤の方・20人
- 参 加 者 20人 参加延べ人数39人
- 参 加 費 800円（材料費）
- 保 育 希望無し
- 講 師 クラフトバンド認定講師 奥村 ひろ美
- 事 業 内 容 紙バンドのテーブルバスケット1個を2日間で作る。
- ま と め

32人の応募があった人気講座で、抽選で20人にしぼった。残念ながら保育希望者はいなかったなので、保育サポーターの方はキャンセルとなった。

材料費支払いの際に3色の色見本の中から1色を選んでもらい、事前に講師に色ごとの人数を知らせた。

講師がアシスタントを連れてきてくれたのでスムーズに作業ができた。アシスタントは1回目1人、2回目2人だった。希望者には材料を追加で分けた。

作品作りは順調で1回目で8割方出来上がったので、2回目の前半で「バラの花飾りピンチ」を実費100円で作製した後、テーブルバスケットを完成させた。時間的に余裕があり全員完成でき、仕上がりにも皆さん大満足されていた。終了後、サークル化の希望があり6人で発足した。サークル代表決めにかかなり手間取ったが、サークル設立の難しいところだと思う。



女性のためのスキンケア・メイクアップ講座

〈 畑 中 公 民 館 〉

○開 設 の 趣 旨 毎日のお手入れに役立つ肌の手入れ法やメイク術を学ぶ。

○期 間 令和元年 1 1 月 1 4 日・2 1 日の木曜日（計 2 回）

○時 間 午前 1 0 時～正午（計 4 時間）

○対 象 ・ 定 員 市内在住又は在勤の方・2 0 人

○参 加 者 1 8 人 参加延べ人数 2 7 人

○保 育 5 人 延べ 6 人

○講 師 ポーラ ザ ビューティ 野村 温子 中嶋 美紀子

○事 業 内 容



回	月 日	内 容
1	1 1 月 1 4 日（木）	冬に向かってのお手入れ法、簡単小顔マッサージを体験する。
2	1 1 月 2 1 日（木）	お悩み解決メイクを体験する。



○ま と め

日頃のお肌の手入れ法やメイク術などを学ぶ女性限定の講座で、若い世代の参加をねらい保育付きにしたが、なかなか応募が増えなかった。なんとか保育希望 5 組になったが、2 日とも出席できたのは 1 組だった。小さいお子さんなので、出席が確実ではないことが多いが、保育付き講座はできる限り企画していきたい。

内容は幅広い年代に対応した基礎的なお手入れやメイク術で、3 0 代から 7 0 代まで年代にかかわらず、終了後の受講者の表情は明るく生き生きとしていた。講師のお二人が明快で親切で質問にも分かり易く答えて頂き、要望にも十分応えて頂いた。

初日は緊張した雰囲気だったが、マッサージの後の蒸しタオルで顔を温めたころから気分がほぐれてきたようだった。二日目は、最初から和やかな雰囲気ではじまった。モデルの女性にメイクしながらの説明でわかりやすく、手持ちの道具でできることを教えてくれたのも良かった。受講者はみるみる素敵な表情になってメイクの力を実感した。

「参加してよかった。」という声が多数寄せられ、来年度は、「夏のお肌のお手入れ、メイク講座」を企画したい。



中国の歴史を知ろう

〈 畑 中 公 民 館 〉

○開 設 の 趣 旨 長崎と中国人との関わりや中華世界の本質を学ぶ。

○期 間 令和元年 10 月 2 日・9 日、11 月 6 日・13 日の水曜日
(計 4 回)

○時 間 午前 10 時～正午 (計 8 時間)

○対 象 ・ 定 員 市内在住又は在勤の方・50 人

○参 加 者 36 人 参加延べ人数 119 人

○講 師 元明治学院大学教授 横山 宏章



○事 業 内 容

回	月 日	内 容	
1	10 月 2 日(水)	長崎にやって来た中国人	長崎の唐人屋敷
2	10 月 9 日(水)		長崎のチャイナ情緒
3	11 月 6 日(水)	中華世界の本質	漢民族と異民族の確執
4	11 月 13 日(水)		賢人支配の体質

○ま と め

昨年度に引き続き 2 回目の講座開催となった。今年度は全 4 回の講座を 2 回ずつに分けて 10 月と 11 月に実施した。募集は一括して行った。

10 月は講師が現地で研究されてきた幕末期の長崎の様子をいきいきとその頃の様子が思い浮かぶように講義され、資料に基づいた詳しい情報に引き込まれて、熱心に聞き入っている受講者が多かった。

11 月は「中華世界の本質」ということで現代の中国につながる政治的背景について分かりやすい講義であった。中国で研究されてきた講師の話は、詳しく説得力に満ちたものだった。

4 回目の資料は、使用するパワーポイントを印刷したが、とてもわかりやすいと好評だった。スクリーンでの映像は見にくいことが多いので、今後も配慮していきたい。来年度、引き続き講座を開催することになった。

親子料理教室 ～賢く元気になる、おやつ作り～

〈 畑 中 公 民 館 〉

○開 設 の 趣 旨 調理を親子で体験し、手作りの楽しさ、大切さを学ぶとともに公民館実習室の活用を図る。

○期 間 令和元年 7 月 2 7 日（土）

○時 間 午前 1 0 時 3 0 分～午後 1 時（計 2 . 5 時間）

○対 象 ・ 定 員 市内在住の小学生の親子・ 8 組 1 6 人（1 家族 2 人）

○参 加 者 7 組 1 4 人

○参 加 費 1 組 1 , 6 0 0 円（実習材料費）

○講 師 管理栄養士 鳴嶋 廣美

○事 業 内 容 ・ジャム D E グミ・簡単冷やすだけ豆乳プリン
 ・じゃがいも入りポンデケージョ
 ・とうもろこしとチーズのおにぎり

○ま と め

夏休みに恒例となっている人気の親子料理教室なので、今年も申込み多数かと思っていたが、なかなか申込みが増えず、結局 7 組 1 4 人だった。そのうち 2 組は家族で、母と娘、父と息子と家族 4 人での参加だった。

1 品ずつ、デモンストレーションの後に実習という形ですすめたのでわかりやすく、子どもたちも積極的に取り組んでいた。おにぎりはまとめて講師が炊き、握るのは個々で行った。

味噌汁と麦茶等の飲み物を講師が用意してくれたので量的にもたっぷりでランチとして十分だった。

塩や砂糖などの調味料やジャムや豆乳などの食材にも、体に良いものを使い、かつ手軽にできて楽しめるメニューで、この夏休みの食生活に大いに役立つ体験となったのではないかなと思う。



人権学習

〈 畑 中 公 民 館 〉

- 開設の趣旨 日常生活における差別や偏見について考え、意識を持っていくことを目的とする。
- 期 間 令和元年 1 1 月 1 6 日（土）
- 時 間 午前 1 0 時 3 0 分～ 1 1 時（計 3 0 分）
- 対象・定員 公民館サークルの代表・ 5 0 人
- 参 加 者 3 4 人
- 事業内容 利用者懇談会の中で、ビデオ視聴により人権問題について学ぶ。

○ま と め

利用者懇談会の会議終了後に毎年実施しているもので、今年度は、DVD「i m a g i n a t i o n ～想うつながる一歩ふみだす～」を視聴した。ある小さなFMラジオ番組のオンエアから3つのエピソードの物語がはじまる。1つ目は「子どもの人権ーいじめ問題ー」、2つ目は「同和問題」、3つ目は「障がい者の人権ー発達障害ー」をドラマと解説者で織りなす、心温まるワンナイトストーリーである。

「人権」を自分の問題として、また、日常の問題として考えるよい機会となった。

フルートと歌のニューイヤーコンサート！！

～ピアノを添えて～

〈 畑 中 公 民 館 〉

○開設の趣旨 新春の時期にコンサートを開催し、地域の皆さんに楽しんでもらう。

○期 間 令和２年１月１９日（日）

○時 間 開場午後１時３０分 開演２時 終演３時４５分
（計１時間４５分）

○対象・定員 市内在住又は在勤の方・１００人

○参加者 ８２人

○演奏者 フルート奏者 池田 里奈 シャンソン歌手 大輔
ピアニスト 滝野 郁瑛

○事業内容 クラシックからシャンソンまでの名曲 （休憩１５分）

月 日	第一部	第二部
１月１９日 （日）	・ パリの空の下 ・ 枯葉 ・ ガラスの部屋 ・ 「アルルの女」よりメヌエット ・ チャルダッシュ ・ 舟歌 ・ 愛燦々 ・ いのちの歌	・ 春の海 ・ 夢見るシャンソン人形 ・ サントワマミー ・ 雪が降る ・ イパネマの娘 ・ 情熱大陸 ・ 糸 ・ リベルタンゴ

○ま と め

参加申込みは、昨年と同じくらいだったが、当日申込み６人、欠席３人で最終的に参加者は８２人だった。

曲目は年代（５０～７０代）にあった選曲を依頼したところ、馴染みのある名曲ばかりで一緒に口ずさむ方もたくさん見受けられた。シャンソン、クラシック、演歌などバリエーション豊かで観客を飽きさせることなく時間は過ぎていった。花束贈呈は公民館をよく利用していただいている方と前列に座っていた方をお願いした。

すごく良かったという声をたくさんいただいたので企画して良かったと思う。



シニア向けタブレット入門講座

〈 畑 中 公 民 館 〉

- 開 設 の 趣 旨 高齢者を対象にタブレットの基本操作を学ぶ。
 - 期 間 令和元年9月20日（金）
 - 時 間 午前10時～正午 （計2時間）
 - 対 象 ・ 定 員 市内在住又は在勤の60才以上の方・20人
 - 参 加 者 16人
 - 講 師 K D D I ケータイ教室認定講師
 - 事 業 内 容 タブレットについての基本操作、インターネット、アプリの活用方法及び安全対策について学ぶ。
- ま と め

K D D I 株式会社が社会貢献活動として行っているシニア向け安心・安全講座から講師を派遣してもらい実施した。本来ならば、講師とアシスタントの2人で対応してもらえるはずだったが、アシスタントの方が千葉の台風災害の関係でボランティアに行くことになり、講師のみで行うことになった。

講座がスムーズに進行するか心配されたが、職員も手伝って混乱もなく無事終了することができた。

参加者の中で、タブレットを持っている人はあまりいないようで、多数の方が初めて操作したようだったが、スマートフォンを持っている方は半数くらいいたので、戸惑う方は少なかった。

アンケートによると、受講の動機で「購入検討・予定のため」は5人だった。今回の講座でタブレットが身近になったのではないかと思う。



歴史街歩き ～芝公園・愛宕山の史跡をめぐる～

〈 畑 中 公 民 館 〉

- 開 設 の 趣 旨 高齢者を対象に館外で史跡等、解説を受けながら見学する。
- 期 間 令和元年12月11日（水）
- 時 間 午前8時30分～午後4時（計7.5時間）
- 対 象 ・ 定 員 市内在住又は在勤の55才以上の方・25人
- 参 加 者 25人
- 参 加 費 2,800円（高速道路代等）
- 講 師 学習院大学講師 林 東洋
- 事 業 内 容 公民館から六本木までバスで行き、そこから徒歩でゆかりの地を巡る館外学習。

○ま と め

市の委託バスで現地まで行き、そこから徒歩で①増上寺②芝東照宮③芝大神宮④NHK放送博物館⑤愛宕神社を散策した。

誰も遅れることなくタイムスケジュールどおり回ることができた。愛宕神社では出世の石段と言われる急な階段を希望者8人が上りきった。解説も分かりやすく、受講生は熱心に耳を傾けていた。

バスを利用した単独の館外学習は今回2回目だが、昨年大変応募が多かったため、今年は多数の場合は抽選とした。受付期間を一週間設定したところ、43人の応募があった。今回はキャンセルが多くあり、キャンセル待ちを繰り上げたが足りなかったため、応募順に2人を追加した。来年度も多数の場合は抽選とするが、キャンセル待ちを多く確保しておくことを検討したい。

